

2025 年度 早稲田大学文化構想学部 転部試験問題

【文芸・ジャーナリズム論系】 ※解答は別紙（横書）

【科目名：小論文】

【設問】 次の 2 つの問いに答えてください。

問 1

小説をはじめとする文学作品には、作家自身の「母語」以外の言語によって書かれたものが多数、あります。

- 1) 母語ならざる言語で著述する作家の事例を複数挙げ、それらの作家が母語以外の言語で著述する背景について論じてください。
- 2) 作家の母語以外の言語で、文学作品が書かれることが持つ意義について論じてください。

問 2

日本は 2025 年に敗戦後 80 年を迎えますが、戦争経験者の数は激減し、いわゆる「当事者」不在の時代が訪れようとしてきています。そうした状況下に鑑み、文学研究の現場では、日記や書簡といった個人文書（エゴ・ドキュメント）に注目し、「当事者」として語られる戦争の記憶と継承／受容についての分析が進められています。

一方で、今日の世界情勢は未だに戦禍が絶えず、戦災に苦しむ人々を新たに生み出し続け、戦争に関する報道が公的メディアのみならずソーシャルメディアでも日夜飛び交っています。戦争経験・戦地経験のある／なしにかかわらず共時的に発信される言説群では、「当事者性」はどのように理解されているといえるのでしょうか。

戦争／語り手／メディアをめぐる言説と「当事者性」の問題について、論じてください。

問 2

Blank area for writing the answer to Question 2.

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——